

回 答 書

令和 7 年 12 月 12 日

質問の内容	質問項目（注 3）
<p>【質問①】 プロポーザル資料によると、1 校区あたりの金額が記載されていますが、例えば、4 校区とった場合は×4 になることでしょうか。</p> <p>【回答①】 地区4か所ごとの2か年分が提案上限となります。</p>	プロポーザル実施要領 5 事業運営経費
<p>【質問②】 想定は 1 校区 1 事業所でしょうか。</p> <p>【回答②】 明確には決めておらず、参加申込書（様式 1）に希望地区数を確認する欄があり、何地区希望するのかによっても変わってくるかと思いますが、必ず 1 校区 1 事業所というわけではない。</p>	
<p>【質問③】 基本週 5 日ですが、窓口配置はなぜ 1 日なのか。これまでの経験からすると、窓口でできる相談もあれば、アウトリーチが必要な相談が多いため、業務内容にもよるかと思うが。</p> <p>【回答③】 これまで週 2 日程度としておりましたが、1 名障がい福祉課内にインタークを置き、その職員と委託相談員 1 名の計 2 人で対応し、週 1 日は障がい福祉課の職員が対応を行う予定となっている。窓口配置ではない日（週 4 日）にアウトリーチを行っていただきたい。</p>	仕様書 9 実施体制 (1) 実施場所 イ
<p>【質問④】 専従の考え方として、他の業務と兼務を認めないとあるが、例えば少し休むことになった場合、代替職員でいいのか。</p> <p>【回答④】 仕様書 9 実施体制 (3) 業務従事者 イ 参照。 基本的に年休等であれば、障がい福祉課と調整し、必ず代替を入れるといったことは想定していない。長期休暇の場合には代替職員をはめていただきたい。ただし、代替職員は兼務でも構わない。</p>	仕様書 9 実施体制 (3) 業務従事者 イ